CG-NSC2100GT
取扱説明書

Contents

Y613-17435-00 Rev.A

安全にお使いいただくためにお読みください

ここには、使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入いただいた商品を安全に正しくお使いいただくための注意事項が記載されています。使用されている警告表示および絵記号の意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ本文をお読みください。

警告表示の説明

	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警告

家庭用電源（AC100V）以外では絶対に使用しないでください。
異なる電圧で使用すると発煙、火災、感電、故障の原因となります。

必ず付属の専用 AC アダプタ（または電源ケーブル）を使用してください。
本商品付属以外の AC アダプタ（または電源ケーブル）の使用は火災、感電、故障の原因となります。

電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。
電源ケーブルに重いものをのせたり、加熱や無理な曲げ、ねじり、引っ張ったりすると電源ケーブルを破損し火災､感電の原因となります。また、電源ケーブル（または AC アダプタ）をコンセントから抜くときにケーブル部を持って抜かないでください。

本商品（AC アダプタ含む）は風通しの悪い場所に設置しないでください。
過熱し、火災や破損の原因となることがあります。

⚠ 警告

本商品（AC アダプタ含む）を分解や改造はしないでください。
感電、火災、けが、故障の原因となります。

本商品の通風孔などから液体や異物が内部に入ったら、AC コンセントからプラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、火災、感電の原因となります。

煙が出たり、異臭がしたら使用を中止し、AC コンセントからプラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、火災、感電の原因となります。

濡れた手で本商品を扱わないでください。
電源が接続された状態で、本商品の操作や接続作業を行うと感電の原因となります。

本商品は一般事務、家庭での使用を目的とした商品です。
本商品は、住宅設備・医療機器・原子力設備や機器・航空宇宙機器・輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器および極めて高い信頼性を要求される設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本商品は使用しないでください。本商品の故障により社会的な損害や二次的な被害が発生するおそれがあります。

⚠ 注意

本商品を多段積みで使用したり、通風孔をふさいだりしないでください。
内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

⚠ 注意

本商品の前後左右、および上部には十分なスペースを確保してください。
換気が悪くなると内部温度が上昇し火災や故障の原因となります。また、商品に使用しているアルミ電解コンデンサは、高い温度状態で使用し続けると早期に寿命が尽きることがあります。寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙、火災の原因となることがあります。

本商品を次のような場所で使用や保管はしないでください。
- 直射日光のあたる場所
- 暖房器具の近くなどの高温になる場所
- 急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- 湿気の多い場所や水などの液体がかかる場所
- 振動の激しい場所
- ほこりの多い場所や、じゅうたん等の保温性、保湿性の高い場所
- 腐食性ガスの発生する場所
- 台所、浴室、洗面所などの水気や湿気が多い場所
- ユニットバスや天井裏など高温・多湿で風通しの悪い場所
- 壁の中などお手入れが不可能な場所
- 強い磁気や電磁波が発生する装置が近くにある場所

事故防止のため、お手入れ可能な場所に設置してください。
本商品 (AC アダプタ含む) にほこりなどが付着していると発煙や火災の原因となる場合があります。ほこりなどが付着している場合は、電源を切った状態にしてから乾いた布でよく拭き取ってください。

雷のときは本商品や接続されているケーブル類に触らないでください。
落雷による感電の原因となります。

本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。
故障の原因となることがあります。

はじめに

このたびは、「CG-NSC2100GT」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本書は本商品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただけるように、大切に保管してください。

また、本商品に関する最新情報（ソフトウェアのバージョンアップ情報など）は、コレガホームページでお知らせしておりますのでご覧ください。

http://corega.jp/

本書の読み方

■記号について

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

	操作中に気をつけていただきたい内容です。 必ずお読みください。		補足事項や参考となる情報を説明しています。

■表記について

本商品	CG-NSC2100GT のことです。
「　」－「　」－「　」	「　」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。
[　]	[　] で囲んである文字は、画面上のボタンを表します。 例：OK → [OK]
Windows Vista	Microsoft® Windows Vista® Home Basic、Microsoft® Windows Vista® Home Premium、Microsoft® Windows Vista® Business および Microsoft® Windows Vista® Ultimate
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system

※本書では、複数の OS を「Windows Vista/XP/2000」のように併記する場合があります。

■イラスト／画面について

本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

マニュアルの種類と使い方

本商品には次のマニュアルがあります。本商品をお使いになる状況に合わせて、それぞれのマニュアルをご覧ください。

■取扱説明書（本書）

安全にお使いいただくためのご注意、本商品を使い始めるまでのセットアップ作業について説明しています。また、「Q&A」では代表的なトラブルとその対処方法を説明しています。

次のマニュアルは、コレガホームページ（http://corega.jp/）で提供しています。必要に応じてダウンロードしてご覧ください。

■詳細設定ガイド（PDF マニュアル）

各機能の使用方法・設定方法について詳細に説明しています。

同梱品一覧

本商品をご使用になる前に、次のものが同梱されていることをご確認ください。万が一、欠品・不良などがございましたら、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

□ CG-NSC2100GT 本体

□ AC アダプタ

□電源ケーブル（3 極 ）

□ユーティリティディスク（CD-ROM）

□ハードディスク固定用トレイ× 2※

□ハードディスク固定用ネジ× 10※

□ LAN ケーブル（1m）

□取扱説明書

□製品保証書

※ CG-NSC2100GT 本体の内部に入っています。カバーを開けて取り出してください。

目次

第 3 章 設定の手順

第 4 章 Q&A

第 1 章
お使いになる前にお読みください

この章では、本商品の特長、各部の名称と働きなどについて説明します。

1.1　本商品の特長

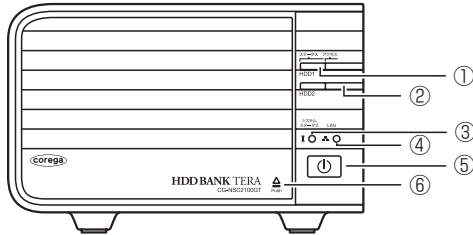
本商品は、ハードディスクを 2 台格納可能な RAID 対応 NAS ケースです。本商品の特長を説明します。

- **RAID 0、1 対応**
  ハードディスクを最大で 2 台収納し、RAID 0（ストライピング）または RAID 1（ミラーリング）の RAID 構成で使用できます。
- **自動再構築（リビルド）に対応**
  万が一ハードディスクが故障した場合、自動で RAID を再構築（リビルド）します。
- **ギガビットイーサネット対応**
  LAN ポートは 1000BASE-T のギガビットイーサネットに対応しています。ストレートケーブルまたはクロスケーブルを自動的に判別するAuto MDI/MDI-X、および 1000Mbps/100Mbps/10Mbps、Full Duplex/Half Duplex を自動認識するオートネゴシエーションに対応しています。
- **Jumbo Frame（ジャンボフレーム）**
  最大 7KByte の Jumbo Frame（ジャンボフレーム）に対応しています。
- **設定ユーティリティで簡単セットアップ**
  ユーティリティディスク（CD-ROM）に収録の設定ユーティリティを使って、ネットワーク設定と RAID 構築が簡単にできます（Windows Vista/XP/2000 のみ）。
- **Web ブラウザで詳細設定**
  ネットワーク上に接続されたパソコンの Web ブラウザで、詳細設定ができます。
- **ファンコントロール機能で静音設計**
  ファンコントロール機能を搭載し、ファンの回転数を使用状況に応じて制御します。ファンの回転音を低減させることや、消費電力を抑えることができます。

いかなる原因においても、本商品に取り付けたハードディスクおよび内部のデータの保証はいたしません。ハードディスク内のデータは、必ずほかのメディアにバックアップしてください。

1.2　各部の名称と働き

各部の名称と働きを説明します。

1.2.1　前面

① HDD ステータス LED

本商品に取り付けられたハードディスクの状態を表示します。

☞ P.18 「1.3　LED 表示」

② HDD アクセス LED

本商品に取り付けられたハードディスクの動作を表示します。

☞ P.18 「1.3　LED 表示」

③システムステータス LED

本商品の状態を表示します。

☞ P.18 「1.3　LED 表示」

④ LAN LED

LAN ポートに接続した機器との通信状況を表示します。

☞ P.18 「1.3　LED 表示」

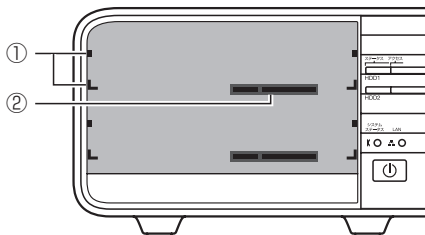
⑤電源ボタン

本商品の電源をオン／オフにします。

☞ P.27 「2.4　電源を入れる」

⑥カバー開閉部

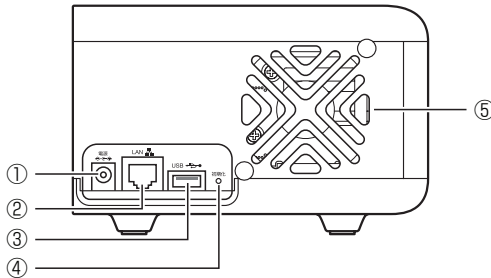
この部分を押すと、カバーの開閉ができます。

1.2.2　内部

①ガイド

ハードディスクを取り付けるときのガイドです。

②コネクタ

ハードディスクを取り付けるためのコネクタです。

1.2.3　背面

① DC ジャック

AC アダプタを接続します。

- 必ず本商品に同梱のACアダプタをお使いください。同梱の AC アダプタ以外は、本商品に接続しないでください。
- 本商品に同梱の AC アダプタは、本商品以外に接続しないでください。
- 本商品に同梱の電源ケーブルは、同梱の AC アダプタ以外に接続しないください。
- 電源コンセントは、3 極電源コンセントに接続してください。

☞ P.27 「2.4　電源を入れる」

② LAN ポート

LAN ケーブルを接続します。

☞ P.25 「2.3　LAN ケーブルを接続する」

③ USB ポート

プリンタまたは UPS（無停電電源装置）を接続します。

④初期化ボタン

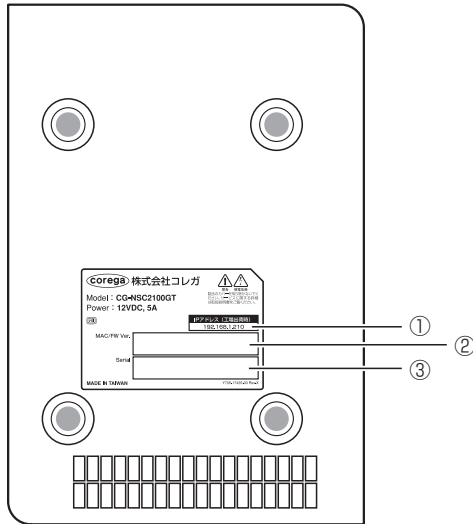
本商品の管理者パスワードおよび IP アドレスを工場出荷時の状態に戻します。RAID 構成や HDD のデータは削除されません。

☞ P.66 「4.2.3　本商品にログインできない」

⑤ファン

本商品内部の熱を逃して空気の循環をよくするためのファンです。

ファンをふさいだり、周囲に物を置いたりしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。

1.2.4　底面

① IP アドレス

本商品の工場出荷時の IP アドレスが記載されています。

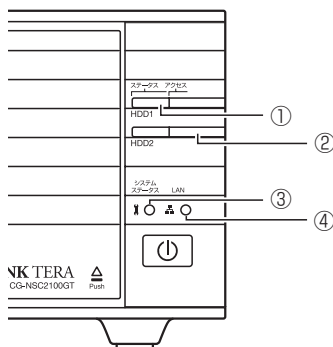
② MAC アドレス、ファームウェア

本商品の MAC アドレス、ファームウェアのバージョンが記載されています。

③シリアル番号

本商品のシリアル番号とリビジョンが記載されています。シリアル番号とリビジョンは、コレガサポートセンタへの問い合わせの際に必要となります。

1.3　LED 表示

本体前面の LED ランプの表示について説明します。

① HDD ステータス LED

本商品に取り付けられたハードディスクの状態を表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	ハードディスクが正常な状態です。
橙	点灯	ハードディスクがリビルドを実行しています。
赤	点灯	ハードディスクが故障している可能性があります。
―	消灯	ハードディスクが取り付けられていません。

② HDD アクセス LED

本商品に取り付けられたハードディスクの動作を表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点滅	ハードディスクにアクセス中です。
―	消灯	ハードディスクにアクセスしていません。

③システムステータス LED

本商品の状態を表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	システムが正常に起動しています。
橙	点灯	RAID のリビルドを実行しています。
赤	点灯	システムに問題が発生している可能性があります。
―	消灯	システムが起動していません。

④ LAN LED

LAN ポートに接続した機器との通信状態を表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	リンクが確立しています。
	点滅	データ通信中です。
―	消灯	リンクが確立していません。

第 2 章
設置と接続

この章では、本商品の設置と接続の手順について説明します。

2.1　設置

本商品を設置する前に、P.2「安全にお使いいただくためにお読みください」を必ずお読みください。

本商品にはゴム足が取り付けられています。デスクの上など水平な場所に設置してください。

設置については、次の点にご注意ください。

- ・電源ケーブルや各メディアのケーブルに無理な力が加わるような配置は避けてください。
- ・AC アダプタは、同梱の本商品専用の AC アダプタを使用してください。
- ・テレビ、ラジオ、無線機などのそばに設置しないでください。
- ・十分な換気ができるように、本商品背面のファンをふさがないように設置してください。
- ・本商品の上に物を置かないでください。
- ・直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
- ・本商品を屋外で使用しないでください。
- ・コネクタの端子に触らないでください。静電気を帯びた手（体）でコネクタの端子に触れると静電気の放電により故障の原因になります。

2.2　ハードディスクを装着する

本商品で使用できるハードディスク、およびハードディスクを装着する手順を説明します。

- 本商品を取り付けたハードディスクは、いかなる原因においても内部のデータおよびハードディスクの保証はいたしません。あらかじめご了承ください。
- 本商品はハードディスクを装着しないと使用できません。
- 本商品に取り付けるハードディスクのデータは、RAID ボリューム構成時にすべて消去されます。お客様の責任において、取り付けるハードディスクのデータをあらかじめバックアップしておいてください。

■使用できるハードディスク

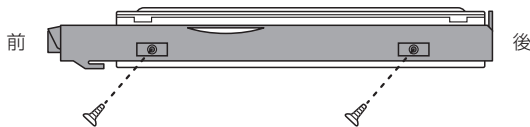
本商品で使用できるハードディスクは次のとおりです。

- SATA（3.0Gbps、1.5Gbps）
- 3.5インチ（101.6（W）× 146.6（D）× 25.8（H）mm）
- 1TB（最大）

※同一ボリュームには、同一メーカ、同一型番のハードディスクをお使いください。
※動作確認済みハードディスクについては、コレガホームページ（http://corega.jp/）をご覧ください。

■ハードディスクの装着

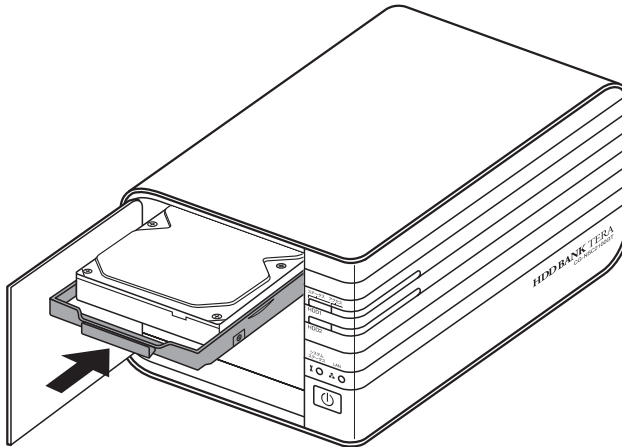
1　ハードディスクにハードディスク固定用トレイを取り付けます。

同梱のネジを使って、下図のようにハードディスク固定用トレイの向きに注意して取り付けます。

ネジを締めすぎないでください。ハードディスクおよびハードディスク固定用トレイを破損するおそれがあります。

2　本商品のカバー開閉部の「Push」を押して、カバーを開けます。

☞ P.13 「1.2　各部の名称と働き」

3　ガイドに沿ってハードディスクを装着します。

ハードディスクは、カチッと音がするまでしっかりと押し込みます。

4　ハードディスクを装着したら、カバーを閉じます。

2.3　LAN ケーブルを接続する

本商品に使用できる LAN ケーブルと、LAN ケーブルの接続方法について説明します。

■ LAN ケーブルのカテゴリ

通信規格	LAN ケーブル（UTP ケーブル）の種類
1000BASE-T	エンハンスド・カテゴリ５以上
100BASE-TX	カテゴリ５以上
10BASE-T	カテゴリ３以上

■ LAN ケーブルのタイプ

本商品は Auto MDI/MDI-X に対応しています。LAN ポートの通信モードがオートネゴシエーション（Auto Speed）の場合、MDI/MDI-X自動切り替え機能が有効になり、接続先のポートの種類がMDIまたは MDI-X のどちらかにかかわらず、ストレートケーブルまたはクロスケーブルのどちらのケーブルタイプでも接続できます。

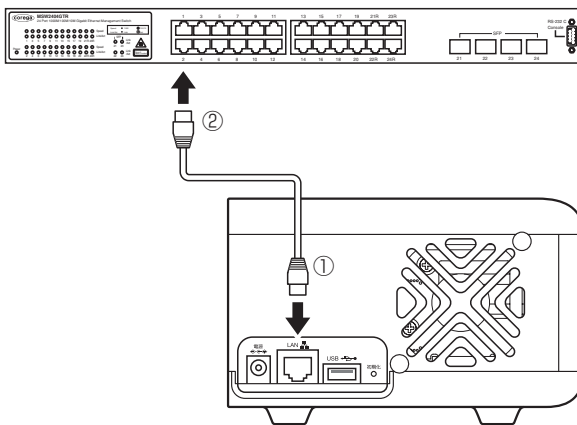
■ LAN ケーブルの長さ

本商品とネットワーク機器を接続するケーブルの長さは 100m 以内にしてください。

■LAN ケーブルの接続

1　① LAN ケーブルを LAN ポートに接続します。

② LAN ケーブルのもう一方を、パソコンまたはスイッチングハブなどのネットワーク機器に接続します。

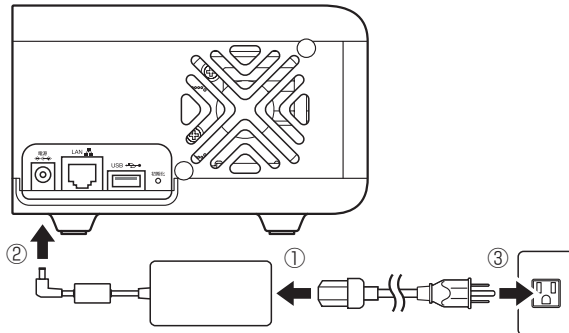
ケーブルはカチッと音がするまでしっかりと差し込んでください。

2.4　電源を入れる

電源ケーブルの接続と、電源の入れ方について説明します。

- 必ず本商品に同梱の AC アダプタをお使いください。同梱の AC アダプタ以外は、本商品に接続しないでください。
- 本商品に同梱の AC アダプタは、本商品以外に接続しないでください。
- 本商品に同梱の電源ケーブルは、同梱の AC アダプタ以外に接続しないください。
- 電源コンセントは、３極電源コンセントに接続してください。

2

■電源を入れる

1　①電源ケーブルを AC アダプタに接続し、② DC プラグを本商品に接続し、③電源プラグを 3 極電源コンセントに差し込みます。

2　電源ボタンを押します。

システムステータス LED が赤色に点灯して起動を開始します。

正常に起動すると、「ピー」という起動音がしてシステムステータス LED が緑色に点灯します。

■電源を切る

本商品の電源を切るには、電源ボタンを 8 秒以上押します。

システムステータス LED が赤色に点灯したら、電源ボタンから手を離します。

電源を切った場合、30 秒以上経過するまで再び電源を入れないでください。電源を続けて切ったり入れたりすると故障の原因となります。

第 3 章
設定の手順

この章では、本商品の設定の手順と、基本的な操作について説明します。

3.1　本商品の設定方法

本商品は、同梱のユーティリティディスク（CD-ROM）に収録している Windows 専用の「corega HDD BANK TERA Utility」（以降、「設定ユーティリティ」と表記します）と、Web ブラウザで設定ができる「Web 設定画面」の、2 とおりの設定方法を用意しています。「設定ユーティリティ」と「Web 設定画面」での設定方法には、それぞれ次の特長があります。

■設定ユーティリティ（Windows 専用）

はじめて本商品を設定する場合に便利です。

・ネットワーク上の本商品を簡単に検索できます

・RAID ボリュームを簡単に構成できます

・自動でネットワークドライブの割り当てができます

■ Web 設定画面

本商品の詳細な設定をする場合に便利です。

・ソフトウェア不要で、Windows および Macintosh で設定できます

・RAID ボリュームを自由に構成できます

・本商品の詳細な設定ができます

本書では、設定ユーティリティを使った設定方法を説明しています。

Macintosh をお使いの場合や、Web 設定画面から設定する場合は、コレガホームページ（http://corega.jp/）で「詳細設定ガイド」をダウンロードしてご覧ください。

3.2　設定の流れ

3.2.1　はじめて設定する場合

設定ユーティリティで本商品をはじめて設定する場合は、次の手順で設定します。

STEP1	**設定ユーティリティをインストールする** 本商品を設定する 1 台目のパソコンに設定ユーティリティをインストールします。 ☞ P.33「3.3.1　設定ユーティリティをインストールする」

STEP2	**本商品のネットワーク設定をする** インストールした設定ユーティリティで、本商品の IP アドレスなどのネットワーク設定をします。 ☞ P.39「3.3.2　本商品の基本的な設定をする」

STEP3	**本商品にログインする** Web ブラウザで本商品にログインできることを確認します。 ☞ P.46「3.3.3　本商品にログインする」

STEP4	**ネットワークドライブにアクセスする** 割り当てたネットワークドライブにアクセスできることを確認します。 ☞ P.49「3.3.4　ネットワークドライブにアクセスする」

3.2.2　2 台目以降のパソコンを設定する場合

2 台目以降のパソコンを本商品に接続する場合は、次の手順で設定します。

STEP1	**設定ユーティリティをインストールする** 本商品に接続するパソコンに設定ユーティリティをインストールします。 ☞ **P.55** 「3.4.1　設定ユーティリティをインストールする」

STEP2	**ネットワークドライブを割り当てる** インストールした設定ユーティリティで、パソコンにネットワークドライブを割り当てます。 ☞ **P.55** 「3.4.2　ネットワークドライブを割り当てる」

STEP3	**本商品にログインする** Web ブラウザで本商品にログインできることを確認します。 ☞ **P.62** 「3.4.3　本商品にログインする」

STEP4	**ネットワークドライブにアクセスする** 割り当てたネットワークドライブにアクセスできることを確認します。 ☞ **P.62** 「3.4.4　ネットワークドライブにアクセスする」

3.3　はじめて設定する場合

設定ユーティリティ（Windows 専用）を使って、本商品をはじめて設定する手順を説明します。

3.3.1　設定ユーティリティをインストールする

本商品に接続するパソコンに設定ユーティリティをインストールします。

■設定ユーティリティを使用できるパソコン

設定ユーティリティを使用できるパソコンおよびOSは次のとおりです。

対応パソコン	対応OS
DOS/V パソコン	Windows Vista/XP/2000

Macintosh をお使いの場合は、設定ユーティリティを使用できません。コレガホームページ（http://corega.jp/）で「詳細設定ガイド」をダウンロードしてご覧いただき、Web 設定画面の「設定ウィザード」を使って設定してください。

■設定ユーティリティのインストール

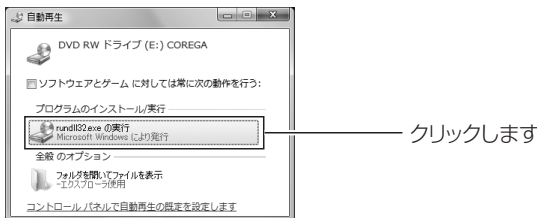
次の手順に従って、設定ユーティリティをインストールします。

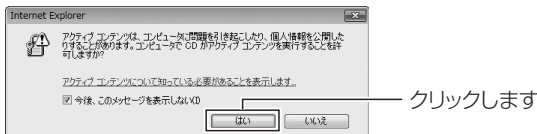
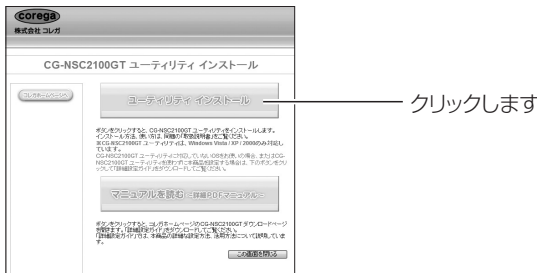
ウィルス対策ソフト、ファイアウォールソフトなどのセキュリティソフトを一時的に停止させてください。

1　**ユーティリティディスク（CD-ROM）をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。**

Windows Vista の場合は手順 2 に、Windows XP の場合は手順 3 に、Windows 2000 の場合は手順 4 に進みます。

2 【Windows Vistaのみ】「rundll32.exe の実行」をクリックします。

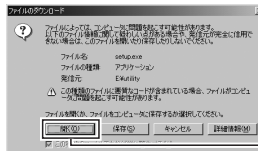
Windows XP の場合は手順３に、Windows 2000 の場合は手順４に進みます。

3 【Windows Vista/XP のみ】［はい］をクリックします。

Windows 2000 の場合は手順４に進みます。

4 [ユーティリティ インストール]をクリックします。

5　Windows Vista/XPの場合は[実行] を、Windows 2000 の場合は［開く］をクリックします。

Windows 2000 の場合は手順 7 に進みます。

・Windows Vista/XP

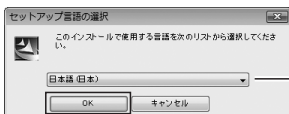
・Windows 2000

3

6　【Windows　Vista/XP のみ】［実行する］をクリックします。

弊社で動作を確認しています。

Windows 2000 の場合は手順 7 に進みます。

クリックします

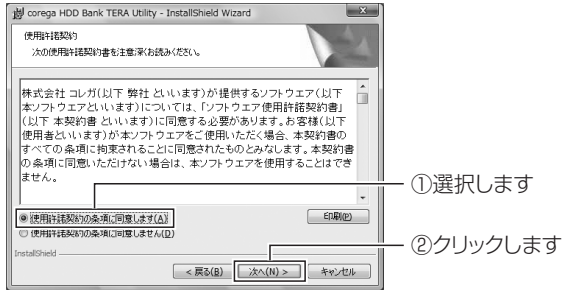
7　「日本語（日本）」が選択されていることを確認し、［OK］をクリックします。

①確認します

②クリックします

必ず「日本語（日本)」を選択してインストールしてください。「日本語（日本）」以外は弊社サポート対象外となります。

8　［次へ］をクリックします。

クリックします

9 使用許諾契約の内容を確認して、「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、[次へ] をクリックします。

10 [次へ] をクリックします。

11 ［インストール］をクリックします。

インストールが始まります。

Windows Vistaの場合は「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。［続行］をクリックします。

12 ［完了］をクリックします。

以上で、設定ユーティリティのインストールは終了です。

本商品をはじめて設定する場合は、**P.39**「3.3.2　本商品の基本的な設定をする」に進みます。

２台目以降のパソコンを設定する場合は、**P.55**「3.4.2　ネットワークドライブを割り当てる」に進みます。

3.3.2　本商品の基本的な設定をする

インストールした設定ユーティリティを使って、本商品のネットワーク設定、RAID 設定をします。

- ウィルス対策ソフト、ファイアウォールソフトなどのセキュリティソフトを一時的に停止させてください。
- Windows Vista Home Premium と Internet Explorer 7.0 での画面を例に説明します。

1　**本商品の電源を入れます。**

☞ P.27「2.4　電源を入れる」

2　**［スタート］－「すべてのプログラム」（Windows 2000 では「プログラム」）－「corega HDD Bank TERA Utility」－「SmartWizard」の順にクリックします。**

メモ

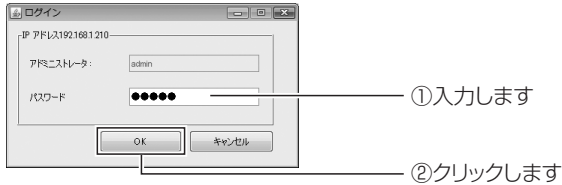
Windows Vista/XP で次の画面が表示された場合は、［ブロックを解除する］をクリックしてください。

3　［次へ］をクリックします。

4　本商品を選択し、［次へ］をクリックします。

本商品を複数台接続している場合は、設定する機器を選択します。

本商品が表示されない場合は、電源が入っていること、LAN ケーブルが接続されていることを確認してください。

5　パスワードに「admin」を入力し、[OK] をクリックします。

ユーザ名およびパスワードの初期値は「admin」（半角小文字）です。

6　「IP 自動取得」または「IP 固定設定」を選択し、[次へ] をクリックします。

「IP 自動取得」を選択した場合は、手順 8 に進みます。

お使いのネットワークの設定がわからない場合は「Q&A」をご覧ください。

☞ P.67「4.2.4 ネットワーク設定がわからない」

7 【IP 固定設定の場合】IP アドレスなどを設定し、［次へ］をクリックします。

手順 6 で「IP 自動取得」を選択した場合は、この画面は表示されません。手順 8 に進みます。

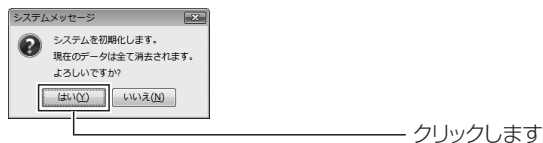
8 「データ保護」または「最大容量」を選択し、［次へ］をクリックします。

データ保護：RAID 1（ミラーリング）を構成します。ハードディスクが 2 台必要です（ハードディスクが 1 台のときは選択できません）。

最大容量：RAID 0（ストライピング）を構成します。ハードディスクは、1 台または 2 台必要です。

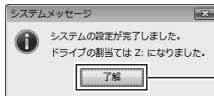
RAID の構成はあとで変更できます。RAID の構成を変更する場合は、コレガホームページ（http://corega.jp/）で「詳細設定ガイド」をダウンロードしてご覧ください。

9 割り当てたいドライブ名を選択し、［次へ］をクリックします。

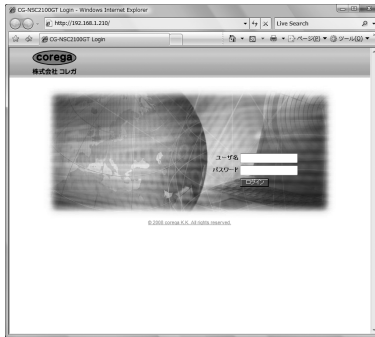
10 設定内容を確認し、［開始］をクリックします。

「IP アドレス」は必ずメモなどに控えてください。

11 ［はい］をクリックします。

12 本商品を設定しています。手順 13 の画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。

・ 設定中に［閉じる］ボタンをクリックしないでください。手順 13 の画面が表示されるまでしばらくお待ちください。
・ ハードディスクの容量や RAID の構成内容によっては、RAID の構成に 10 分以上かかる場合があります。

13 ［了解］をクリックします。

14 ログイン画面が表示されます。

設定が完了すると、自動的に Web 設定画面のログイン画面が表示されます。

以上で、本商品の設定が完了しました。

3.3.3　本商品にログインする

ここでは、Web ブラウザで本商品にログインし、本商品を設定する手順を説明します。使用できる OS と Web ブラウザは次のとおりです。

OS	Web ブラウザ
Windows Vista/XP/2000	Internet Explorer 7.0/6.0
Mac OS X	Safari 3.0/2.0

- ・ウィルス対策ソフト、ファイアウォールソフトなどのセキュリティソフトが起動していると、本商品の設定に失敗することがあります。
  そのため、次の手順に従ってください。
  ①セキュリティソフトを停止する
  ②本商品を設定する
  ③セキュリティソフトを再度起動する
  なお、セキュリティソフトの停止方法、起動方法は、お使いのセキュリティソフトの取扱説明書をご覧ください。
- ・本商品の IP アドレスを「192.168.1.210」（初期値）に固定した場合を例に説明します。
- ・Windows Vista Home Premium と Internet Explorer 7.0 での画面を例に説明します。

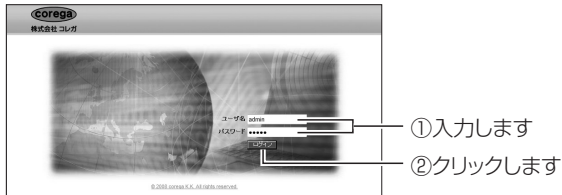
1　Internet Explorer または Safari を起動します。

2　アドレスバーに「192.168.1.210」と入力して、Enter キーまたは return キーを押します。

IP アドレスを変更した場合や、IP アドレスを自動で取得するように設定している場合は、本商品に設定されている（割り当てられている）IP アドレスを入力します。

3　ログイン画面が表示されます。

ユーザ名およびパスワードに「admin」（半角小文字）を入力して、［ログイン］をクリックします。

3

- ログイン画面が表示されない場合は、電源が入っていること、LAN ケーブルが接続されていること、ネットワーク設定が正しいことを確認してください。
  それでもログイン画面が表示されない場合は、「Q&A」をご覧ください。
  ☞ P.66「4.2.3　本商品にログインできない」
- ユーザ名およびパスワードの初期値は「admin」（半角小文字）です。全角と半角、大文字と小文字を区別します。
- セキュリティの観点から、パスワードを変更することをお勧めします。
  ☞「詳細設定ガイド」（PDF マニュアル）
- ユーザ名およびパスワードを変更している場合は、変更後のユーザ名およびパスワードを入力してください。

4　本商品の Web 設定画面（トップページ）が表示されます。

Web 設定画面で、本商品の詳細な設定をすることができます。詳しくは、ユーティリティディスク（CD-ROM）収録の「詳細設定ガイド」をご覧ください。

■ログアウトする

設定画面を終了するには、右上の「ログアウト」をクリックします。

以上で、本商品を使用する準備ができました。

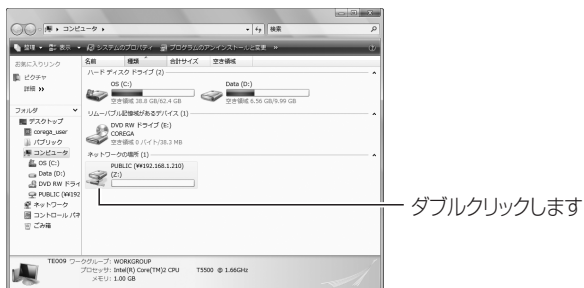
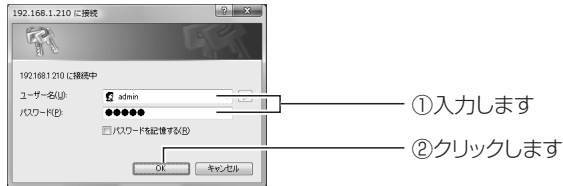
3.3.4　ネットワークドライブにアクセスする

ここでは、設定ユーティリティで割り当てたネットワークドライブにアクセスできることを確認します。

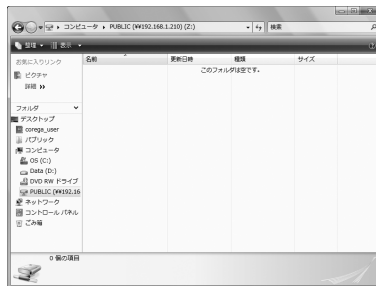
☞ P.49「■ Windows Vistaの場合」
☞ P.51「■ Windows XPの場合」
☞ P.53「■ Windows 2000の場合」

■Windows Vistaの場合

1　[スタート] −「コンピュータ」をクリックします。

2　ネットワークドライブをダブルクリックします。

3　ユーザ名およびパスワードに「admin」（半角小文字）を入力して、［OK］をクリックします。

※画面は例です。表示されない場合もあります。

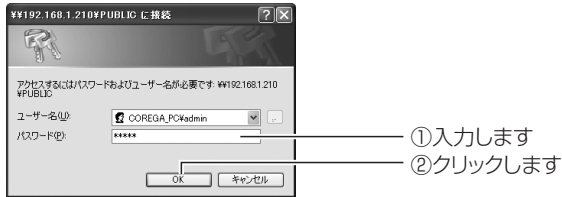
4　ネットワークドライブにアクセスできると、次のようにフォルダが表示されます。

以上で、ネットワークドライブにアクセスできることが確認できました。

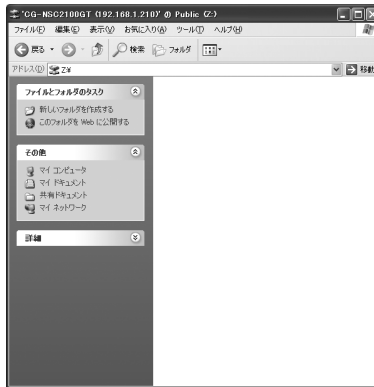
■ Windows XP の場合

1　［スタート］－「マイコンピュータ」をクリックします。

2　ネットワークドライブをダブルクリックします。

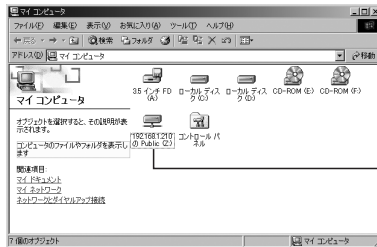
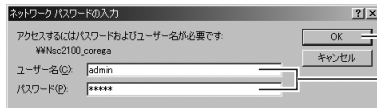
3

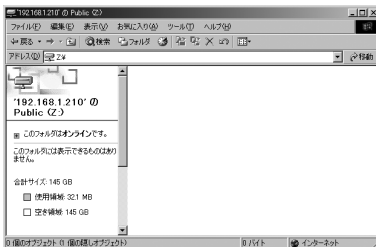
3 パスワードに「admin」（半角小文字）を入力して、［OK］をクリックします。

※画面は例です。表示されない場合もあります。

4 ネットワークドライブにアクセスできると、次のようにフォルダが表示されます。

以上で、ネットワークドライブにアクセスできることが確認できました。

■Windows 2000 の場合

1　デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリックします。

2　ネットワークドライブをダブルクリックします。

3　ユーザ名およびパスワードに「admin」（半角小文字）を入力して、[OK] をクリックします。

※画面は例です。表示されない場合もあります。

4　ネットワークドライブにアクセスできると、次のようにフォルダが表示されます。

以上で、ネットワークドライブにアクセスできることが確認できました。

3.4　２台目以降のパソコンで接続する

２台目以降のパソコンを本商品に接続する場合は、次の手順で設定します。

3.4.1　設定ユーティリティをインストールする

本商品に接続するパソコンに設定ユーティリティをインストールします。

☞ P.33「3.3.1　設定ユーティリティをインストールする」

3.4.2　ネットワークドライブを割り当てる

インストールした設定ユーティリティで、パソコンにネットワークドライブを割り当てます。

・ウィルス対策ソフト、ファイアウォールソフトなどのセキュリティソフトを一時的に停止させてください。
・Windows Vista Home Premium と Internet Explorer 7.0 での画面を例に説明します。

1　**電源が入っていることを確認します。**

本商品の電源が入っていることを確認します。

☞ P.27「2.4　電源を入れる」

2　設定ユーティリティを起動します。

［スタート］－「すべてのプログラム」（Windows 2000 では「プログラム」）－「corega HDD Bank TERA Utility」－「SmartWizard」の順にクリックします。

メモ

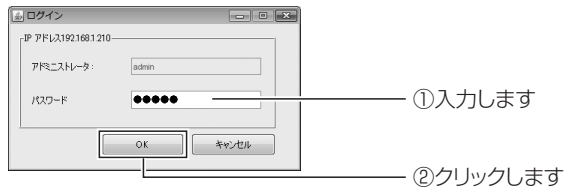
Windows Vista/XP で次の画面が表示された場合は、［ブロックを解除する］をクリックしてください。

3　［次へ］をクリックします。

4　本商品を選択し、[次へ] をクリックします。

本商品を複数台接続している場合は、ネットワークドライブに割り当てたい機器を選択します。

本商品が表示されない場合は、電源が入っていること、LAN ケーブルが接続されていることを確認してください。

5　パスワードに「admin」を入力し。[OK] をクリックします。

ユーザ名およびパスワードの初期値は「admin」（半角小文字）です。

6 「IP 自動取得」または「IP 固定設定」を選択して、［次へ］をクリックします。

「IP 固定設定」を選択した場合は、手順 8 に進みます。

お使いのネットワークの設定がわからない場合は「Q&A」をご覧ください。

☞ P.67「4.2.4 ネットワーク設定がわからない」

7 【IP 固定設定の場合】IP アドレスなどを設定し、［次へ］をクリックします。

手順 6 で「IP 自動取得」を選択した場合は、この画面は表示されません。手順 8 に進みます。

8 「ブラウザで設定する」を選択し、[次へ] をクリックします。

すでにボリュームは設定されていますので、ここでは「ブラウザで設定する」を選択し、[次へ] をクリックします。

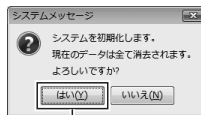
9 割り当てたいドライブ名を選択し、[次へ] をクリックします。

10 設定する内容を確認し、[開始] をクリックします。

「IP アドレス」は必ずメモなどに控えてください。

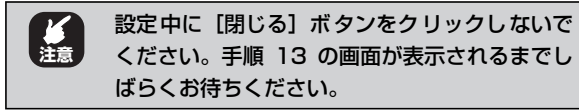
11 ［はい］をクリックします。

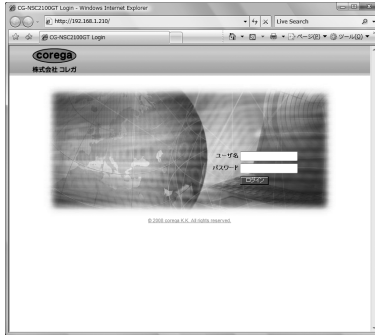
12 本商品を設定しています。

手順 13 の画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。

設定中に［閉じる］ボタンをクリックしないでください。手順 13 の画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

13 ［了解］をクリックします。

クリックします

3

14 ログイン画面が表示されます

設定が完了すると、自動的に Web 設定画面のログイン画面が表示されます。

以上で、設定ユーティリティでの設定は完了しました。

3.4.3　本商品にログインする

Web ブラウザで本商品にログイン、ログアウトできることを確認します。

☞ P.46 「3.3.3 本商品にログインする」

3.4.4　ネットワークドライブにアクセスする

割り当てたネットワークドライブにアクセスできることを確認します。

P.49 「3.3.4 ネットワークドライブにアクセスする」

第 4 章
Q&A

この章では、困ったときの確認方法や解決方法を説明します。

4.1　トラブル対処の方法

本商品を使っていて困ったときは、次のステップに従って対処方法を確認してください。

STEP1	**取扱説明書（本書）で設定を再確認する** **管理者などに問い合わせる**

それでも解決できないときは…

STEP2	**本章の「Q&A」を確認する** ☞ **P.65**「4.2.1　電源が入らない」 ☞ **P.65**「4.2.2　通信できない」 ☞ **P.66**「4.2.3　本商品にログインできない」

それでも解決できないときは…

STEP3	**コレガホームページ（http://corega.jp/）の情報を活用する** 本商品の詳細設定ガイド（PDF マニュアル）、最新情報、よくあるお問い合わせ、最新ファームなどを提供しています。

それでも解決できないときは…

STEP4	**コレガサポートセンタに問い合わせる** 連絡先は取扱説明書（本書）の裏表紙をご覧ください。

4.2　Q&A

よくあるトラブルと、その対処方法を説明します。

4.2.1　電源が入らない

電源が入らないときは、次の内容を確認してください。

現象	･電源が入らない ･システムステータス LED が緑色に点灯しない
対処方法	電源ケーブルに断線がないか、電源ケーブルが正しく接続されているか、正しい電源･電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。 それでも電源が入らない場合は、本商品に問題がある可能性があります。次のページをご覧になり修理を依頼してください。 P.71 「保証と修理について」

4.2.2　通信できない

LAN ポートの通信状況を表示する LAN LED が点灯しないときは、次の内容を確認してください。

現象	･LAN LED が点灯しない ･通信できない
対処方法	･接続先の機器に電源が入っているか確認してください。また、パソコンに取り付けられている LAN アダプタに障害がないか､LAN ケーブルが LAN アダプタに正しく接続され、通信可能な状態にあるかなどを確認してください。 ･LAN ケーブルが正しく接続されているか、正しい LAN ケーブルを使用しているか、LAN ケーブルが断線していないかなどを確認してください。 LAN ケーブルの不良は外観からは判断しにくいため（結線は良いが特性が悪い場合など）、ほかの LAN ケーブルに交換して試してください。 なお、使用できる LAN ケーブルについては次のページをご覧ください。 P.25 「2.3　LAN ケーブルを接続する」

Q&A

4.2.3　本商品にログインできない

本商品にログインできないときは、次の内容を確認してください。

現象	･パソコンから本商品に接続できない ･本商品のログイン画面が表示されない
対処方法	パソコンのネットワーク設定を変更して、本商品とパソコンとを直接 LAN ケーブルで接続してみてください。 本商品の工場出荷時の IP アドレスおよびサブネットマスクは次のとおりです。 IP アドレス：192.168.1.210 サブネットマスク：255.255.255.0 そのため、パソコンの IP アドレスとサブネットマスクは次のとおり設定する必要があります。 IP アドレス：192.168.1.210 を除く、次の範囲内 192.168.1.1 ～ 192.168.1.254 サブネットマスク：255.255.255.0

IP アドレス	192.168.1.210
サブネットマスク	255.255.255.0

IP アドレス	192.168.1.210 を除く、次の範囲内 192.168.1.1 ～ 192.168.1.254
サブネットマスク	255.255.255.0

現象	管理者パスワードを忘れてしまった
対処方法	初期化ボタンで管理者パスワードおよび IP アドレスを工場出荷時の状態に戻すことができます。RAID 構成やハードディスクのデータは削除されません。 工場出荷時の状態に戻すには、本商品背面の初期化ボタンを 8 秒以上押してください。工場出荷時のユーザ名およびパスワードは「admin」です。 ☞ P.15「1.2.3　背面」

4.2.4　ネットワーク設定がわからない

お使いのネットワークの設定がわからない場合は、次の手順で調べてください。

1. ［スタート］－「すべてのプログラム」（Windows 2000 では「プログラム」）－「アクセサリ」－「コマンドプロンプト」の順にクリックします。
2. 「ipconfig /all」と入力して Enter キーを押します。
3. Windows Vistaでは「IPv4アドレス」、Windows XP/2000 では「IP Address」に表示された数字が設定用パソコンの IP アドレスになります。
4. お使いのネットワークの設定は、Windows Vista では「DHCP 有効」が「はい」の場合は IP 自動取得に、「いいえ」の場合は IP 固定設定になります。Windows XP/2000 では「DHCP Enable」が「Yes」の場合は IP 自動取得に、「No」の場合は IP 固定設定になります。

IP 固定設定の場合、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバは、表示された数字がそのままお使いのネットワークの設定になります。表示されたデフォルトゲートウェイが 192.168.1.1 の場合は、本商品の IP アドレスに 192.168.1.XXX が使用できます（XXX は 210 などの 1 ～ 254 のうち、ほかの機器で使用していない数字）。

付録

本商品の仕様、保証や修理のご案内、コレガサポートセンタへの連絡先などを記載しています。

仕様一覧

<table>
<tr><td colspan="2">対応 PC</td><td>DOS/V パソコン、Macintosh</td></tr>
<tr><td colspan="2">対応 OS</td><td>Windows Vista（32bit）/XP（32bit）/2000、Mac OS X 10.4/10.5</td></tr>
<tr><td colspan="2">設定ユーティリティ対応 OS</td><td>Windows Vista（32bit）/XP（32bit）/2000</td></tr>
<tr><td colspan="2">サポート規格</td><td>SATA（3.0Gbps、1.5Gbps）、USB 2.0/1.1 規格準拠</td></tr>
<tr><td colspan="2">取得承認</td><td>VCCI クラス B</td></tr>
<tr><td rowspan="2">外部
インタフェース</td><td rowspan="2">LAN</td><td>接続ポート：RJ-45 × 1 ポート（MDI/MDI-X 自動認識）</td></tr>
<tr><td>転送速度：1000Mbps（理論値）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">内部
インタフェース</td><td rowspan="2">SATA</td><td>接続ポート：SATA（7 ピン）メス× 2</td></tr>
<tr><td>転送速度：3.0Gbps（理論値）</td></tr>
<tr><td>電源</td><td>SATA 電源コネクタ（15 ピン）メス× 2</td></tr>
<tr><td rowspan="3">対応 HDD</td><td>HDD 形状</td><td>3.5 インチ（101.6（W）× 146.6（D）×25.8（H）mm）</td></tr>
<tr><td>HDD 容量</td><td>1TB まで動作確認済み</td></tr>
<tr><td>接続可能台数</td><td>1、2 台（最大）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">周辺機器（※ 1）
接続用インタフェース</td><td rowspan="2">USB</td><td>接続ポート：USB シリーズ A（4 ピン）メス× 1</td></tr>
<tr><td>転送速度：480Mbps（理論値）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">電源仕様
（AC アダプタ）</td><td>定格入力電圧</td><td>AC100V（50/60Hz）</td></tr>
<tr><td>定格入力電流</td><td>1.5A</td></tr>
<tr><td>定格出力</td><td>60W</td></tr>
<tr><td rowspan="2">環境条件</td><td>動作時</td><td>温度 5 ～ 40 ℃／湿度 5 ～ 85%（結露なきこと）</td></tr>
<tr><td>保管時</td><td>温度 －20～60℃／湿度5～95%（結露なきこと）</td></tr>
<tr><td colspan="2">外形寸法</td><td>146（W）× 213（D）× 85（H）mm
本体のみ（突起部を含まず）</td></tr>
<tr><td colspan="2">質量</td><td>970g 本体のみ</td></tr>
</table>

※ 1　プリンタまたは UPS に対応します。詳細はコレガホームページ（http://corega.jp/）をご覧ください。

保証と修理について

■保証について

別紙の「製品保証規定」を必ずお読みになり、本商品を正しくご使用ください。無条件で本商品を保証するということではありません。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。本商品の保証期間については、保証書に記載されている保証期間をご覧ください。

■修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書をご覧いただき、正しく設定・接続できていることを確認してください。現象が改善されない場合は、コレガホームページに掲載されている「修理依頼用紙」をプリントアウトの上、必要事項を記入したものと製品保証書および購入日の証明できるもののコピー（レシートなど可）を添付し、商品（添付品一式とともに）をご購入された販売店へお持ちください。修理をご依頼する際は、次の点にご注意ください。

※弊社へのお持ち込みによる修理は受け付けておりません。

・修理期間中の代替機などは弊社では用意しておりませんので、あらかじめご了承ください。

・保証書に販売店の押印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。

・商品購入日の証明ができない場合、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。

・修理依頼時の運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・修理完了後、本商品の設定は初期化状態（工場出荷時の状態）に戻りますので、あらかじめご了承ください。

■修理を依頼されるときの注意事項

・必ずハードディスクを取り外してください

弊社に修理をご依頼される場合には、ハードディスクやほかの機器との接続ケーブル、および弊社保証の対象とならない部品などを、事前に本商品からお取り外しください。これらが本商品に付加された状態で弊社に引き渡された場合には、弊社ではこれらの管理について責任を負いかね、いったんお客様に返却させていただきます。

※なお、輸送中に生じたハードディスク、およびハードディスクに記憶されたデータの破損、汚損、紛失、そのほか弊社保証の対象とならない部品に関連して生じうる一切の損害については、その責任を負いかねます。

・保証期間内外・対象有無にかかわらず、故障の場合は新品良品との交換となります

そのため、設定された内容はすべて初期化されます。

・お使いのハードディスクのデータは保証できません

本体を修理交換後、修理前にお使いになっていたハードディスクを装着しても、データの保証はいたしかねますのでご了承ください。

■有償修理について

有償修理の場合は、ご購入された販売店へお持ちください。下記 URL に有償修理価格が記載されておりますのでご覧ください。

http://corega.jp/repair/

おことわり

- 本書は、株式会社コレガが作成したもので、すべての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- 改良のため商品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。

本商品は国内仕様となっており、外国の規格などには準拠しておりません。日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本商品は、GNU General Public License Version 2 に基づき許諾されるソフトウェアのソースコードを含んでいます。これらのソースコードはフリーソフトウェアです。お客様は、Free Software Foundation が定めた GNU General Public License Version 2 の条件に従ってこれらのソースコードを再頒布または変更することができます。これらのソースコードは有用と思いますが、頒布にあたっては、市場性及び特定目的適合性についての暗黙の保証を含めて、いかなる保証も行ないません。詳細については、コレガホームページ内の「GNU 一般公有使用許諾書（GNU General Public License）」をお読みください。なお、ソースコードの入手をご希望されるお客様は、コレガホームページ、サポート情報内の個別製品の「ダウンロード情報」をご覧ください。配布時に発生する費用はお客様のご負担になります。

2008 年　6 月　初版

【コレガ FAX サポートセンタ　045-476-6294】

お問い合わせ用紙　※ CG-NSC2100GT専用お問い合わせ用紙

お電話にてお問い合わせをいただいた場合、商品の仕様上、環境や症状などに関して、正確に把握するまでお時間を要し、問題解決にお時間がかかる場合がございます。大変お手数ですが、なるべく FAX・メールサポートをご利用頂きますようお願いいたします。

お問い合わせ日：　　　　年　　月　　日

コレガサポートセンタにご質問される場合、お問い合わせ商品に関する次の情報をご記入ください。

会社名		**部署名**	
フリガナ		**ご購入先**	
ご担当者名			
ご連絡先	TEL： 携帯電話：	FAX： メール：	

商品を複数台お使いの場合はその旨ご記入ください。

商品名（型番）		**ファームウェアバージョン**	
シリアル番号	(S/N) □□□□□□□□□□□□□□□□　Rev.□□		

ご利用のネットワーク構成やご利用環境をご記入ください。

ご質問内容をご記入ください（□にチェックを付けてください）。

□トラブル　(□常に発生する　□特定の動作をすると発生する　□不定期に発生)
□設定方法　(□初期等　□購入後)

□別紙有り（ログデータ、設定画面、書ききれない場合などある場合は、添付してください）

―　このページをコピーしてお使いください　―

メールサポートも承っておりますのでご検討ください　http://corega.jp/faq/

■コレガホームページのご案内

コレガホームページでは、各種商品の最新情報、最新ファームウェア、よくあるお問い合わせなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

http://corega.jp/

■商品に関するご質問は・・・

商品のご質問はコレガサポートセンタまでお問い合わせください。お問い合わせの際にはコレガホームページ掲載の「お問い合わせ用紙」または下記の必要事項をご記入いただいた書面を用意して、メール、FAX、電話でのいずれかの方法でお問い合わせください。

●お問い合わせ先

【コレガサポートセンタ】

メールサポート：下記 URL からユーザ登録をしたあと、お問い合わせをしてください。

http://corega.jp/faq/

FAX　045-476-6294

電話　045-476-6268

〈受付時間〉

10：00 ～ 12：00、13：00 ～ 18：00　月～金（祝・祭日を除く）

※サポート内容、電話番号など、予告なく変更する場合があります。最新情報はコレガホームページ（http://corega.jp/）をご覧ください。

※本商品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、日本語版 OS のみ動作を保証しています。そのため、日本語版 OS 以外のお問い合せはお受けできませんのでご了承ください。

※サポートセンタへのお問い合せは日本語に限らせていただきます。
This product is supported only in Japanese.

※電話が混み合っている場合は、メールサポートおよび FAX サポートをご利用ください。

●必要事項

あらかじめ下記の必要事項を控えておいてください。

・商品名
・シリアル番号（S/N）、リビジョンコード（Rev.）
・お名前、フリガナ
・連絡先電話番号、FAX 番号
・購入店
・購入日付
・お使いのパソコンの機種
・OS
・接続構成
・お問い合わせ内容（できる限り詳しくお知らせください）

PRINTED WITH SOY INK　本書は再生紙を使用しています。